

# 指先で分かるあなたの健康

## 心筋梗塞の兆候を察知

### パソコンで「脈」解析

指先に流れるかすかな「脈波」をキャッチし、心筋梗塞(こうそく)などの危険性や心身のストレス状態が分かる健康診断システムを、兵庫県養父郡大屋町立南谷診療所の馬庭芳朗医師(四三)が開発した。心電図や血圧計などで調べる従来の方法より、情報がはるかに多く得られ、ノートパソコンなどがあればどこでも利用できる。全国でも初のシステムといい、すでに心筋梗塞の早期発見など成果を挙げている。

形が複雑になれば、動脈硬化などの症状を示すという。ほかに、脈波の形を決めるさまざまな要因を「カオスアトラクター」という図形として画像

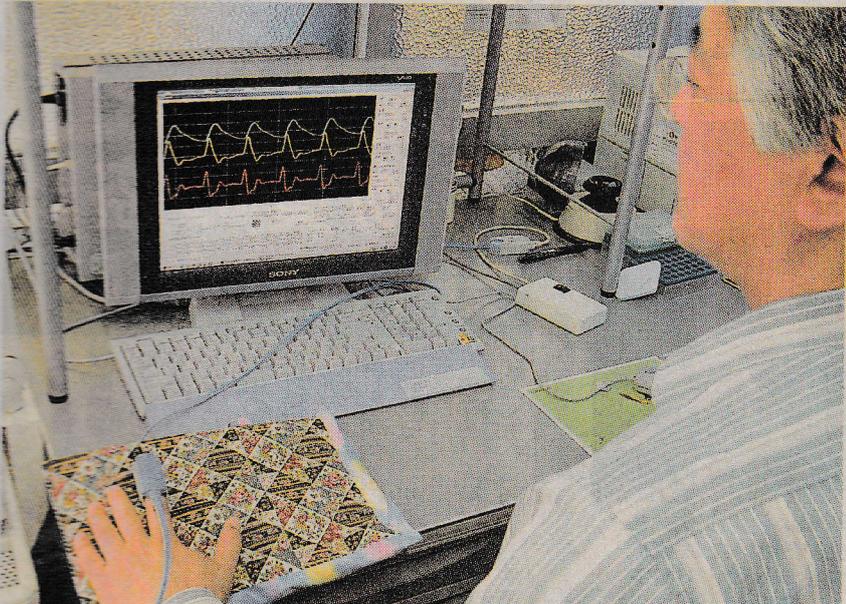
「脈波カオス健康診断」で増幅させた数値データに断システム」。馬庭医師が東京や横浜の企業と協力、昨年、ソフトを開発した。さらに、血液量が増える「加速度」も算出し、その脈波形を画面に映し出す。

患者が指一本を指先センサーに十秒間差し込むことによって、血液の流量変化を示す脈波を、光センサーがキャッチ。そば、疲労やストレスがこれに「A/Dコンバーター」

「健康」を示す標準流量変化を示す脈波を、光センサーがキャッチ。そば、疲労やストレスがこれに「A/Dコンバーター」

### 大屋町の医師ら開発

共同研究する東京医科大や大阪大などの二千人のぼる臨床例との照合で、痲痺や精神障害、疲労、飲酒の状態も分かるという。長野県内のある事業所では、従業員の健康診断に利用。馬庭医師は「インターネットで自宅からデータを送ることもでき、へき地などの高齢者の健康管理にも活用できる」と話している。



指先の「脈波」による健康診断システム。梗塞の早期発見などに成果を挙げている。兵庫県養父郡大屋町宮本、町立南谷診療所

## 学校耐震化へ5000億円要求

### 03年度 文科省 特別枠で

算の概算要求で五千億円規模の特別枠を設けるよう、政府の経済財政諮問会議などに求めていく方針を固めた。公共施設の約八割を占める学校は災害時には地域の防災拠点となるが、自治体の厳しい財政状況などから補強や改築といった耐震化が進んでいない。文科省は、学校の耐震二千億円程度必要として、総額は他省で一兆円程度通し。

文部科学省は二十一日までに、学校など公共施設の耐震化を早急に進めるため、二〇〇三年度予算に特別枠を設ける方針を固めた。公共施設の約八割を占める学校は災害時には地域の防災拠点となるが、自治体の厳しい財政状況などから補強や改築といった耐震化が進んでいない。文科省は、学校の耐震二千億円程度必要として、総額は他省で一兆円程度通し。

### 個人情報保護法

## 財界3トップが反対

### 「取材規制好ましくなく

経済同友会の小林陽太郎代表幹事は二十一日の記者会見で、国会で審議中の個人情報保護法案について「メディアの取材規制につながる法律は好ましくない」と述べ、同法案に反対の立場を明らかにした。経団連と日経連が統合して二十八日に発

足する日本経済団体連合会の会長に就任する奥田碩日経連会長、日本商工会議所の山口信夫会頭も同様の見解を示しており、中央財界三団体トップがそろって法案をそのまま通すことに反対意見を表明したことになる。小林代表幹事はメディア

### メディア規制 反対訴え集会

「よくしきれていない」と問題提起した。ジャーナリストの原寿雄氏は「『メディア規制法反対の集い』という看

は山村で、灰汁が、木で、毒刻